

警告

- 本品は非常時の露営や休憩等の使用を目的とした簡易シェルターであり、自立する山岳テントのような居住性と耐久性、防水性、抗雪性等を求めたものではありません。設営の際は、風・雨・雪の影響が少ない安全な場所を選んでご使用ください。
 - ツェルト内では**絶対に火気を使用しないでください**。一酸化炭素中毒・酸欠・火災の恐れがあります。
 - 常に換気口(出入口・ベンチレーター)を開けた状態でご使用ください。酸欠の恐れがあります。
- 一般的なツェルトと比較して気密性が高くなっておりますので特にご注意ください。

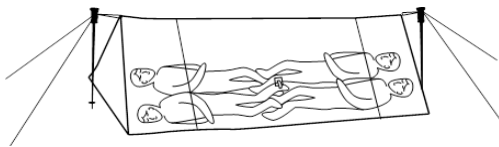
使い方

本製品はチューブ形状をした大型シェルターです。
ストック・ポールなどを利用し設営できるほか、非常時は入口を絞るだけで、簡単に避難スペースを作ることができます。



①ストック・ポール等を使用して設営

居住性を重視した最も基本的な設営方法です。
ポールの代わりに直接木などに結び付けても設営できます。
床面積の調整が可能で、1～3名が横になることができます。



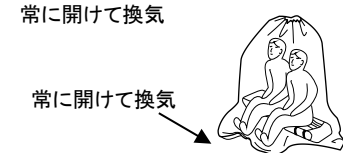
②入口を完全に開けて設営

入口を完全に開けたままストック・ポール等を立てて使用すると、約4名が横になれる大型のシェルターとして使用できます。



③そのままぐって使用(緊急ビバーク用)

チューブ形状をしているため、両端をゆるく絞るだけで簡単に避難スペースを作ることができます。
バックパックなどを利用して空間を広げると、1～3名が横になれます。



④座ったまま被って使用(緊急ビバーク用)

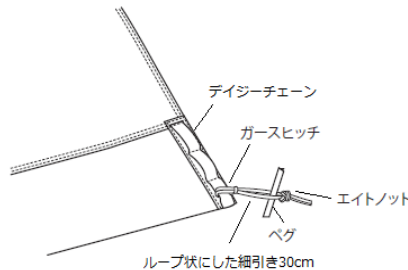
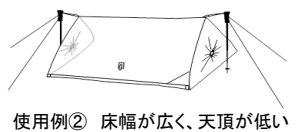
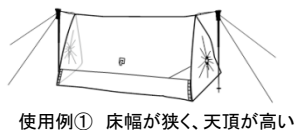
片方の入り口を絞り、頭から被るだけで、1～3名の避難スペースを作ることができます。
もたれかかれる場所を選び、バックパックに座るとより快適に過ごせます。

ストック・ポール等を利用して設営する方法

【用意するもの】

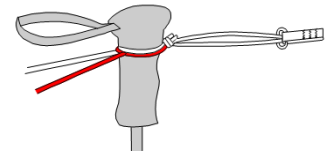
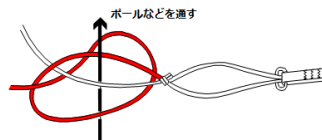
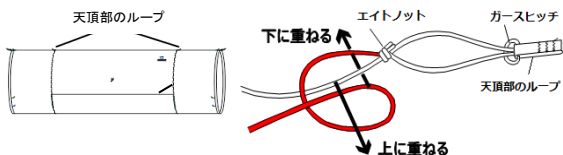
- 直径2mm～3mm程度の細引き5m×2本、30cm×4本(ペグダウンループ用)
- ※軽量で高強度のロープとラインロック(自在)をセットした「ツェルトガイドラインセット(別売)」のご使用をお勧めします。
- 居住性を向上させたい場合はサイドリフター用として細引き1m×2本を別途ご用意ください。

【設営方法】



① 床の4隅をペグダウンします。デイジーチェーンでペグダウンの位置を調整することで、75～130cmまで床幅を変えることが可能です。
デイジーチェーンに直接ペグダウンすることも可能ですが、ループ状にした細引きをデイジーチェーンに通してからペグダウンすることをお勧めします。

※本製品のデイジーチェーンはペグダウン専用です。
ペグダウン以外の目的では使用しないでください。



- ② ストック・ポール等を用いてツェルトを立てます。
5mの細引きを半分に折り、半折部分から約25cmのところにてイトノットを作ります。
- ③ ツェルト天頂部のループに細引きをガスヒッチで固定し、図のようにクローブヒッチでループを上下に重ねます。

④ 重ね合わせた2重ループの真ん中にストック・ポールなどを通して固定します。
ストック・ポールは天頂の高さ+10cm程度に調整してください。

⑤ 2本の細引きを引っ張り、末端をペグや石で固定すると完成です。最後にストックの高さを微調整してテンションを整えます。

※柔らかい雪面であればグリップを上にとすると、ストックが沈みません。硬い地面であれば、ストックを逆さまにして石突を下から差し入れても使用できます。

注意事項

- 汚れは真水で落とし、陰干しで充分乾燥させてから保管してください。
- 汚れや水が付着したまま放置しますと、生地劣化や色落ち、異臭、カビの原因になります。
- ご購入後は安全を確保したうえで、繰り返し使用方法を練習することをお勧めします。